’02 第九

のべおか第九だより（第313号）
2002年11月16日 (土)

○発行　のべおか「第九」を歌う会
○事務局（延岡総合文化センター内）
882-0852 延岡市東浜砂町611番地２
電話 (0982)２２－１８５５

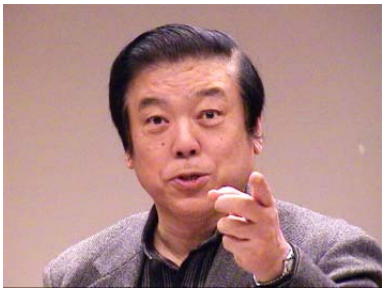
今日の練習

高関先生の直接指導
★ A (237～330小節）p.9～17
★ B (411～654小節）p.20～33
★ C (655～762小節）p.34～43
★ D (795～920小節）p.46～58

12月14日まであと28 日

前回の練習	会員数	出席数	出席率	自己採点
♦ ソプラノ	30 人	18 人	60.0 %	68.8 点
♥ アルト	65 人	40 人	61.5 %	65.2 点
♣ テノール	24 人	16 人	66.6 %	63.3 点
♠ バ　ス	27 人	14 人	51.8 %	57.5 点
● 合　計	146 人	88 人	60.3 %	64.2 点

先日の直接指導から…



＠長井先生の指導（10月31日）

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話
（ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。）

★ 237 【お話し】こんばんは。夏うかがったときにドイツ語のことをもう一回掘り起こしましょうということをやって、あれから数ヶ月たちました。さぞかし、さぞかし、身に付いているでしょう（笑）。今日は期待をして聴きます。今年は私、N響の第九のあたり年なので、9月の終わりから始めているんですけど、音大生でこの第九の譜読みがどれくらいかかると思いますか？1日の授業が1時間半なんです。1時から2時半までです。そのうち20分ぐらい発声練習やりますから、実際はその残り。その中には僕の駄洒落もはいるかもしれない。…で、2日！それで終わりです。今年はほかのベルリオーズのレクイエムというのもN響の第九の10日前に同じN響の定期演奏会であって、2本立てでやっているので学生たちはヒーヒー言っています。テノールさんは上のシの音が連続して出てくるとかね。編成は3年の声楽科の女の子と1～3年生の声楽科の男性で基本的にされているんです。最初に2回練習したぐらいでは、例のとこなんかは“キュ～セェ…”といいます。どこも同じコレは。専門的にドイツ語の授業を受けていた連中でもそう言ってしまいます。
……えーと。最初にぜ～んぶ聴いていいですか？前回は途中までしかやっていませんが、今の時期に「途中までしかやってません」じゃないでしょうから。ちょっと立ちましょう！

○ 238 【Freu-de!】 もっと前から！“Freu-de!”ってソリストが言いますよね。聞かないように。聞いてから出ると“Fr”の接頭語が遅れてしまう。「あぁいい声だなぁ！」とソロを聞かないように。

● 257 【Dei-ne Zau-ber～】 日本のどこの合唱団も（音をはずませて）歌うんです。ヨーロッパのどこの合唱団は（音をつなげて）歌うんです。何が違う？“ひとつひとつ”なのか“レガート”なのか。ここは管楽器が“プパプパ…”ってスタッカートで聞こえてくるんです。そしたら皆さんがそれにつられて“Dei ne Zau ber”って歌う。“Freu-de, schö-ner…”のところもそうなんですよ。ここもオーケストラがスタッカートで聞こえてくるのね。でもヨーロッパのコーラスたちは特にドイツ人

たちは言葉がわかってるから般若心経のように切らないですよ。もっとつなげて歌うんですよ。

それでこの8小節間のなかで磁石になる言葉があるんですよ。その磁石に向かって歌ってほしいんです。“Brü-der,”（262）。みんさんは“wer-den”に向かってくれと言ったらすぐやってくれると思うの。そこが一番高いから。でも言葉上“Brü-der,”が一番重要なのです。

○ 257 【Dei-ne Zau-ber】“Zau-（ツァォ）”速く言ってください。

★ 257 【お話し】意味わかってるよね？「わかって歌ってください」と夏に言っておきましたから。“sanf-ter”というのはソフトという意味、“Flü-gel”は羽でしょ。それなのに、そこを軽々しく歌わない。

● 260 【streng ge-teilt; al-〜】“al-le”から“Brü-der,”に向かって。ここからが勝負です。みんなでひとりも欠けないで。女性の方は仕草はそうなってるけど、音は出てないよ（笑）。僕は量的にも質的にも2段構えでいってるのね。音量的にはfをよりfにするわけね。質的というのは“Brü-der,”の“B”をもっと前から発音するんです。そうすると質的なものも補えるんです。

○ 262 【wer-den Brü-der,】259小節の“Mo-de”の“-de”を短くして“streng”を前に出すと“streng”という言葉が立つじゃないですか。それとおなじで“wer-den”を短くして“Brü-der,”を前にして言葉を立たせる。

★ 262 【お話し】もう今の段階では、頭が理解しているだけではなくて喉が理解してなくては。

◇ 285 【Ja, wer auch nur】“auch”（アォホ）。この2小節あとに“auf”ってのがあるでしょ。一緒にならないように。今、ソプラノが生贄になってますからね（笑）。みなさん同罪ですからね。ここは高い音だから

★ 285 【お話し】ドイツ語で“夜”という単語、“nacht”。無声音が入るのね。その録音したテープを聴くと日本人のだと“ナフト”って聞こえるんです。だから僕は生徒に「“ナフト”って聞こえるかもしれないから“na-”と発音した直後に“ア”とより開けなさい」といいます。“ナ”の次に“ハ”を挟んで“トゥ”があるでしょ。だから（“ア”の次に）閉じるほうにいってしまうんです。それと同じようなところです。だから“ホ”ときちんと開けないと“ヌル”と閉じる言葉だか

ら。是非今年の録音は“アオホ”と入っているように。……この前もお話したとおり、キリスト教の教義の中の「神のもとにひとつになりましょうよ、兄弟よ！」フランス革命のように「みんなが平等になりましょう」。フリードリッヒ・シラーの精神。そこでその「はみ出し物は、この地球上から立ち去るがよい！」貴族も平民もみな平等だよ。そういうところなんです。

◇ 286 【ei-ne_ See-le】 “See-le”（ジ〜レ）って言わないようにね。入れ歯の具合が悪い人もジ〜レって言わないように。そんな人はいないかソプラノに（笑）。みんな若かった。

○ 290 【konnt, der steh-le】 大事な言葉。“der”。関係代名詞で「ところの」ということ。皆さん今は“nie”はやってくださった。もうちょっとここも際だたせて。dimもそこについてるんじゃない。そこから小さくすればいいです。みなさんのはこの前から小さくなってるから「“der”と歌ってから小さくすればいい」と思ってください。ひとつ早めに小さくなるから“der”が弱い。細かいことを言っているようですが、大事な言葉ですから。

○ 291 【wei-nend sich aus】 “wei-nend”というのは“泣きながら”という意味。“d”がつくと、英語の“ing”なんです。

★ 291 【お話し】みなさん、どうなんですか？歌うところに逐語訳を書き写している人はいますか？…あ、うちの学生たちと同じ比率だ。僕が「そんなに不遜なことをするなよ、書き写せよ！」と。私がパッとあてたとき「わかりません。」9月に凄い悲痛な言葉をニコニコして歌ってるけどわかってる？って言ったときに「わかりません。」…いや、わからないじゃないよ。書き写しなさいということをやってないからわからないんだ。その隣は？「やってません。」…。もう長井先生は全然貫禄ないんです。でも、みなさんは是非！特にベテランの方、「10年歌ってるけど意味は全然わかんねぇ」じゃなくて。ぜひわかって歌ってほしい。できたら逐一、意味を書いて。対訳というのはあてになりません。そうするとここの“wei-nend sich aus”はニコニコしながら歌えない。わかっていたら、是非！！…ではなくて、是非わかってください！！！…簡単なことです。時間があるときに楽譜の後ろから前に。

♣ 313 【Küs-se gap sie〜】 テノールがんばって！（313〜）。音が高いというよりも、音程が大変。…バリトンの僕がいっしょについていってあげてるんだから、頑張って。

● 313 【Küs-se gap sie〜】 ソプラノとテノール、アカペラ…という夫唱婦随みたいなデュエットをやってるんです。こっち（アルト・バス）が添え物なんです。でもとっても大事なんですよ。こっちの音が小躍りしてるから和音感というのがないんですよ。そこにハーモニー感をつけてあげているんですよ。だからこっちの仕事も凄く大事なんですよ。

● 321 【und der〜】 もうちょっと。軟弱なんじゃなくて。

○ 330 【Gott.】 これはテープで聴かせていただいたものと本番がどうなるかわかりません。その日のマエストロのご気分。リハーサルのときのホールの響き具合とかね、みんな関係するんですよ。歌っている人数、力量、みんなが関係して長さが決まります。

● 411 【Lau-fet,〜】 意味がわかっていたら、“freu-dig”を平板にしない。“勇者のごとく、人生の勝利者となるべく道を走れ…”という男らしく力強いものを歌っているところです。

○ 411 【Lau-fet,】 はい、僕のいい声を聴きすぎてる？あっかんべーぇ！（歌い終わるのを聴いて出ない。）前に来なければ。

★ 411 【お話し】子音の中で前に持ってこれる子音と持って来られない子音。“カ”とか“タ”は前に持ってこれない。でも“ザ”とか今の“ラ”とはは前に持ってこれるでしょ。

○ 431 【--gen!】 パチンコでゲンさんてのがあるけど“ゲン…”って言わないでね。ドイツ語の“e”の語尾は開口母音です。

★ 431 【お話し】あ〜ぁ疲れた。僕の喉の常備薬は何でしょう？ビール？（笑）2つあるんです。ひとつは龍角散ね。も一つはねぇ、漢方に詳しい人はいないかな。ササクールというのがあるんです。仁丹ぐらいの大きさでまっ黒けなんです。しゃぶっていると舌がまっ黒けになるからラブシーンはダメよ（笑）。それを50粒ほど舌にのせておいて熔けるのを待つんです。ササクール、この適応症は「声がれ」しかないんです。ほかに効かないんです。歌いすぎるぐらい歌って声が枯れた場合よ（笑）。

● 543 【Freu-de,〜】 最初がf。“al-le Men-schen”（566〜）がff。そこでオーケストラも変わってきます。オーケストラも楽器が増えますから。だけど543小節からあまり控えめに歌う人はいないだろうから「最初が100%だとしたら566小節からは150%だよ」って学生たちには言うんです。是非みなさんも。……ソプラノさんとテノールさん、高いのはわかるけど、“シェ〜ネル…ゲェッテル”とやらないで。顔をすぼめて。

○ 543 【Freu-de,】 ここ、“Fr-”は前に出てきてね。

♤ 566 【teilt; al-】 fからffになるときに、ベースだけ音が上がりますよね。そこでふくらんだように思わせるためにベースの方たちは頑張って。

○ 595 【Seid um-】 ここを開けて歌ったほうが、ホールのあの“非常口”の明かりのところまで届くんですよ。ここ…。こもらない。前もベルカントのことを話しましたが、ここはジラーレではなくアッペルトなんです。ねじらない、かぶせない。

○ 598 【o-nen!】 なんかチョボがついてるでしょ、そこ。でもやりすぎないで。バウンドさせて。

○ 600 【Kuß der】 “der”“デェール”。“ディール”じゃなくて。もっとなまって。露骨にディールって言わない。“ディール”というのは“dir”（おまえに）という単語です。この“der”は冠詞です。英語の“the”にあたります。

○ 601 【gan-zen】 “gan”を“ガーン…”ってやらないで。絶対本番では！アホみたいに聞こえますから。“der gan-”の間に連続性がほしいのね。

○ 611 【Brü-der!】 “-der!”みなさんのは、“ブリューうん…デル”って腰かけてらっしゃる。“ブリューーデル”

◇ 631 【Ihr_ stürzt】 ソプラノさん、cresc.が過激すぎる。pがcresc.してるんですから。
○ 631 【Ihr_ stürzt】 みなさん“Ihr_”のcresc.はしてくださるんだけど、decresc.が不充分。それとこれ、毎年お願いしていることなんですけど、“シュツルツ”じゃない。オーケストラと一緒にやるときには“stürzt”をゆっくり歌わせてもらえます。ちゃんと言えます。それぐらいのタイミングがもらえます。……ここは良い意味の緊張を持って出て！

○ 632 【nie-der,】 “nie-”が大事。“-der”はそんなに要らない。5分5分でもない。6:4ぐらい。デルと書いてあっても出ない！…語尾だもん。ここは副詞ですから“低く…（ひざまづく）”という意味です。「創造主に低く身をかがめて100万の民よ。」

○ 633 【Mil-li-】 歌い出したら、すぐにcresc.が書いてありますので要注意。

○ 634 【o-nen?】 ppになりますが、またすぐcresc.が書いてあります。でも“-nen?”は語尾ですから、大きくならない。音が下から上にあがっていってるでしょ。高いほうが語尾。

♧ 636 【du_ den】 テノールだけリズムが違います。

○ 640 【ü-berm】 cresc.がどっから始まるのか、もう一回再認識して。

○ 646 【woh–nen,】 ソプラノさんとテノールさん、“woh–”にはsfがついていますよね。そのsfがついている“woh–”よりも“–nen,”は語尾だからそちらのほうが小さくないといけない。

● 655 【〜】 アルトの歌うような“Seid_ um––”とソプラノの歌うような“Freu-de, schö-ner”の歌詞がくり返しここから出てきますが、前者は“ダーンダーン…”ですから後者“ピッパピッパ…”と対比をさせて歌ってください。

★ 655 【お話し】今年の本番を振られる指揮者のテープをお聴きしましたが、ここからが例年より遅いんですよ。84といったら、まさに遅いテンポなんですよ。特にテノールさんが遅いと大変なんだと思いますが、私がN響なんかで経験すると、だいたいここは速いんですよ。速いとね、コントラバスが弾けないんですよ。663小節から。ブロムシュテットという名誉指揮者がやっぱり遅いんですよ。休憩時間に「学生たちはブレスがもたなくて…」とお話したら「僕が決めたテンポじゃない、ベートーベンが決めたテンポだから」って。それで初日が終わって舞台の袖に帰ってきたコントラバスさんが「俺、生まれてはじめて全部の音を弾いたよ！」って。普段は間引いて弾いてるんですって。いつものスピードだと到底埋められないんですって。今年は全部弾けると九響の方がおっしゃるかもしれない（笑）。

♧ 662 【Seid_】 出そう！この音ぐらい出そう！！テノールはなんでそこにいるかというと、「高い音が出るから」なんです。低い音が出ないからじゃなくて高い音が出るからいるんです（笑）。

♤ 730 【Ihr stürzt】 こんなに遅いんだから“stürzt”ってちゃんと言いましょうよ。遅いなりに抜かさないで。どんなに遅くなっても抜けるものは抜けるじゃダメですよ。

♡ 741 【–zelt!】 そのあたりになったら、もっと大きな声が出るでしょ。最初の“Such’”は難しいかもしれないけど。

○ 743 【ü--berm】 特にソプラノね。ここは時間かけないで音を飛び上がってね。

○ 746 【–der!】 “–der!”は口を開放して。

○ 748 【Brü-der!】 746小節と同じ

○ 749 【ü-】 “友情”の“ユゥ”じゃないの。

♡ 753 【zelt muß_】 さっき言った「ほかが動かないんだけどアルトが動くところ」です。そこほかのパートをみてください。みんな同じ音を引っ張ってます。“muß_”これをとっても印象深く歌ってほしいの。今の歌い方は影にかくれているから。強めといったら変だな。表現をしてほしい。ちょっと出しゃばってほしい。

♡ 758 【ein_】 今度お使いになるオーケストラの譜面は何ですか？ベーレンライター版？だとしたら、ここのアルトはシャープだ。…でね、指揮者には二通りあってね、持論があって絶対どちらかという人と、あちらからいらした方であれば、合唱指導者がドのナチュラルなのかシャープがついたものなのか聞いて「そのままでいいです」となります。でも時々「ベーレンライター版だから“ドのシャープ”」ってね。僕なんかは「どっちも歌えるようにしておこうね」です。みんなどっちが気持ちがいい？って言ったらドのナチュラルが気持ちがいいって。そりゃそうよね、ドのナチュラルをピアノが弾くんだものね。だけどこの合唱団は両方を一応…。「いつも両方です」（今村先生）…ね。今、両方歌ってない？（笑）ちょっと怪しげだった（笑）。

● 795 【Dei-ne Zauber,〜】 凄く立派！…最初落ちこぼれたでしょ、だいぶん（笑）。落ちこぼれたところがpなのよ。その人たちがさだんだん参加しはじめてcresc.なのよ（笑）。ベートーベンの思惑どおり！……ここは「御前の魔力が…」ですから軽率な意味じゃないです。だからウキウキしないで。……ここはソプラノのソロなど、ピークになっているです。そこにみなさんが全然違う次元から参加するわけですから、そういう意味合いも持って。そうすると随分ここは立体的な演奏ができると思います。そしてすぐcresc.。

○ 795 【Dei-ne Zauber,】 はい！“ツァーベル”って聞こえる。もっと“ツァオ、ツァオ”って速く口をさばいて。

○ 809 【Men-schen,al-le】 なんで？なんで皆さんは“al-le”で安心しちゃうの？安心するのは“Men-”に入らないと安心できないよ。気を緩めたらだめ。

○ 810 【Men-schen wer-den】 ここにdecresc.が書いてあってpになっています。そして“wer-”でcresc.して。その大きい小さいのことを暗譜のときにぜひ頭に入れておいてください。

♡ 811 【Brü-der, wo dein】 ここもアルトさん、ほかのパートが“wo dein”と同じ音を歌っているのに、アルトさんは違う。凄く誇らしげに歌ってほしい。

○ 812 【sanf-ter】 揃って！みんなが神経をとがらせて。“s-”は長い時間を持った子音ですから。揃うように。

◇ 813 【Flü-gel weilt._】 絶対僕の耳を疑ってないけど、“フリュ〜”って言ってると思うの。そこはウムラウト。

♧ 813 【Flü-gel weilt._】 “-gel”って上がりますね。上がった“レ”の音があります。その音は矢印“↑”。その音が下がってるから次の音も下がってしまう。

○ 813 【Flü-gel weilt._】 こっち3パートは“フリュ〜”って言ってない？ソプラノだけかな、罪を犯してるのは。

♥ 818 【Dei-ne Zau-ber,〜】 1回目に“Dei-ne Zau-ber,”と出たところはユニゾンだった。しかもpから出た。でもここからは混声4部になっているんです。特にアルトさん、あえてベートーベンがこの音にしているんです。ちょっと強めに出てください。……ハモってる、ハモってる！そんな不思議な顔しないで！ハモってる？「アルトはひとつ！」

♡ 819 【dei-ne Zauber】 前の小節から“dei-”の音、きちんと跳躍してね。すごく責任重大な場所。

○ 831 【al-le】 おそらくソリストたちが“アッレメンシェン”て言ったら、皆さん方が“アーーレメンシェ〜ン”って言うんだろうね。“al-le”と“l-l”がダブってることを着目して。

○ 832 【Men-schen!】 さっき言った“Sie-gen!”の語尾と同じ。つまり“al-le”までのテンポと違う次元ですよね。物々しくです。ここは。

● 851 【〜】 今度のはMaestosoが速いんだよね。オケの方たちも全部は弾いてないと思うんだ。間引かないと弾けないと思う。僕はそのテンポの体験がないから無理かもしれないけど、いきましょう。

○ 855 【Seid um-schlungen,】 “Sei-”を前に。150人がそうやってごらんなさい。凄い迫力があるから。ここはシンバルなんかが凄い音を立ててたり、いろんな楽器が音を出しています。そこにみなさんがオンタイムで“Sei-”って言ったら音が聞こえないんですよ。“Sei-”の語幹を出すように。

○ 864 【Brü-der!】 “Welt!_”のしっぽに“Brü-der!”じゃないんです。最初の部分で「“Brü-der!”に向かい

ましょう」って言ったじゃない。

● 865 【ü-berm_～】 ここから先のリズムがさばき切れていません。

○ 883 【Welt! der】 “Welt! ”の“lt!”の語尾を言って。（885）（887）（890）（891）“ベル…ベル…ベル…ベル”言わないで（笑）！“全世界の”ってのはみなさんのは“全ベルの”になってる（笑）。意味が全然通じない！

○ 898 【--zen】 “gan-”と言い直している人がいるということですが、言い直さない。言い直すように聞こえていると思ったら、“アンツェン”というのを“ガンツェン”と言っていると思っちゃってる人がいるのかな。その先（902小節）も同じ。言い直さないでね。“アアアア アンツェン…”です。

● 915 【Toch-～】 今、どんなテンポで歌ってらっしゃる？…3拍子で？あの1拍の間に8つはいるかな。みんなの経験だと“E-ly-si-um!…”からあとが格好いいと思わない？、今年はバーッ！でも絶対オケの人たちは帳尻を合わせますからね。ずっと遅かったんだけど、今年は速いかもしれない。

★ 920 【お話し】はい。凄い駆け足で言いました。10言ったことの中で3つでも覚えていただいたら幸せです。またまた堀田さんがまとめてくださるようでしょうから、第九だよりを見てください。お疲れでした。

◆とても楽しく歌えた。顔が笑うと声もでるって不思議ですごい!!(モヘモヘ)
◆ガラコンサートの練習は来られませんでした。すごく悔しい！第九の練習は皆勤を目指します!!(A.K.)
◆自分の課した“歌詞の訳を書いてくる”という宿題を何とか仕上げてきました。
◆今日はとっても寒かったです。次は指揮者の方の指導なので、いつも注意されている所を家でしっかり復習して頑張りたいです。(スヌーピー)
◆11月はぜったいに出席することを自分自身に約束。(m♪)
◆6時から練習で楽しく歌えましたが、体力もなく、第九は声を出すのが一生懸命でした。
◆長井先生のとき、はやり人数が少なかったですね。もう練習日少なくなりましたし、たくさん参加して欲しいですね。
◆日、一日と寒くなってきました。風邪をひかないよう体調管理に気を付けよう！(おくまちゃん)
◆風邪をひかないように、注意して過ごしましょう。
◆泣きたいぐらい難しい（というようりわからない）某大学の二時問題の数学をやってきました。…本当にむずかしい…。(梨)
◆連日の練習（木・金・土）お疲れさまです。寒さも増して、残り少なくなりました。風邪などひかぬように気を付けて。さぁ残りのチケットを頑張って売ります。(メダカのおばちゃん)
◆今日は遅刻してしまったけど、声だしなどうまくできたと思います。(いちごちゃん)
◆Tochterの出だしとリズムを前のをリセットして覚え込まなくては。(シャローム)

♥先日の長井先生のご指導を教訓に歌いました。速いのに少し大変でしたが、何だかちょっぴり自分なりに成長した感（？）でした。(オバタリアン)
♥木・金・土と3夜連続のレッスンです。幸せ（？）な事です。体力・気力・食欲＿食欲＿食欲。(Dynamite Lady)
♥昨日は五ヶ瀬往復。ダンス2時間。今日は宮崎往復で、私の体力ではかなり無理があったのですが、なぜか声がよく出ました。自分でもびっくりです。(TOM)
♥今日はよかった！おとといあったばかりで声も出しやすかったです。次回もがんばるぞ。(あんり)
♥きょうは風邪ひいてましたが、がんばったので90点です。(おJi蔵さん)
♥次回はいよいよ高関先生ですね。楽しみでもあり、恐ろしくもあり…です。
♥今日は一段と寒いです。かぜをひかないように気を付けましょう。
♥「乾杯の歌」なかなかうまく歌えず、困っています。ガラコンサートのチケットがやっと売れたので代金を納めました。あとは第九のほうが2枚。何とか売ります。(アッちゃん)
♥今朝はストレッチ体操を充分して来ました。きれいない声がどうか出ますように。(花子)
♥今夜は風邪の前兆かな、何か気になる。急に寒くなったので皆さん気を付けましょう。
♥宮崎から柳田先生もみえて活を入れていただき、思いの外、よく声がでた。
♥長井先生の練習のときは欠席してすみませんでした。今日もがんばります。(Emily)
♥Bのテンポに驚き、また同じ事を注意され、不安が大きく広がっています。本番、大丈夫かな。頑張らなくては。
♥長井先生のレッスンに参加しました。（11月1日）不思議ですが、なぜか声がでてきたような気になりました。まほうの手がかなでる音がきれいです。夢の中にいるような…。

♥ガラコンサートの練習不足、あせっています。体調を整え、時間の繰り合わせを考えて今年もすばらしい年末のフィナーレにしたいのですが…。(Hamu-Star)
♥三日続けてのせいか、今日は声の出が良かったです。
♥娘の出産が帝王切開になり、県病院に救急車で入院など、いろいろあり欠席ばかりですみません。
♥寒くなってきました。だんだん公演が近づいてきています。気を引き締めて練習したい。風邪を引かないように。
♥今日は理由あって遅れました。すみません…。
♥長井先生の指導が受けられず、損をしました。今村先生の熱の入ったご指導、ありがとうございました。(Y．Y．)
♣公演まで練習を楽しんでやりましょう!!
♣今日はかぜぎみ。少々セーブして歌わせていただきましたが、例の龍角散を買ってみました。悪くならないうちに復活したいと思います。
♣風邪をひかないように！健康管理に気を付けて。
♣“蕎麦（そば）咲くや老婆のあねさん被りかな（洋士）”椿姫のテープを聴いていますが、どうしても遅れます。今日の柳田先生の三拍子の踊りのように…。そのつもりでやってみます。(ヒロー)
♣今回は最後のところがむずかしいようですけど、早くおぼえたいと思います。(ねこふんじゃった)
♣やっとテスト期間が終わったので、ほっとしています。(大)
♣上手く歌いた～い!!そう思う今日この頃です!!(K.C.)
♠みんな忙しい中でも出席しておられるのに、自分の場合はなぜか練習日に当たっている日にかぎって重要な用件が入って休まざるを得ないという暇人で、申し訳ないなあと思っています。(Mr.Red)
♠11月に入って本番まであと1か月ちょっと。寒さも本番。(グリーンヒル)
♠第九本番が近づいてきました。初めての試練、乗り切ることができるかな。練習あるのみ。がんばろう。(がんばるぞー)

次回は11月30日（土）19:00～21:30

ガラコンサートの練習はその前…11月24日（日）19:00～21:30

●編集後記

今回は先日の長井先生のご指導を掲載しました。今日の高関先生のご指導は次回の第九だよりに掲載します。楽譜の逐語訳のヨコにカキコミをお願いします。寒くなったので風邪に注意！【munenori@horita.jp】